

2021年5月5日

市民生活協同組合ならコープ
理事長 中野 素子 様

市民生活協同組合ならコープ	環境監査委員会
委員長 和田 武	和歌山大学客員教授
当麻 潔	奈良県地球温暖化防止活動 推進センター長
辻村 輝美	組合員代表
吉村 恵	組合員代表
稲野 玲子	ならコープ常任理事
小山 幸恵	ならコープ理事
竹本万里子	ならコープ理事
山内美和子	ならコープ理事
金光 結香	ならコープ監事

2020年度 環境監査報告書

ならコープ環境監査規程第6条、第7条及び第8条に基づき、環境パフォーマンスの有効性及び今後の目指すべき活動等の提案について、監査を実施しましたので、下記の通り報告いたします。

I. 監査概要

2020年度ならコープ環境事業まとめ書類監査（監査期間 2021年4月21日（水）～4月30日（金））

II. 2020年度実績の評価

1. 前回監査の「今後の取り組みにあたっての意見」に真摯に対応し、多岐にわたる環境活動を組合員、職員、各種団体等ステークホルダーとの協同により展開し、温室効果ガス排出量等、電気使用量を除く全ての2020年目標を達成できており、非常に高く評価できます。
2. 太陽光発電、蓄電池、V2Hを設置した「ならコープ下市ステーション」は、地球温暖化による甚大な被害や南海トラフによる大規模地震の際の地域避難所のモデルケースになると評価できます。
3. BDF燃料使用車両の拡大をやめて電気自動車の拡大を開始した方針は適切であり、電気自動車を52台導入したことは先進事例として高く評価できます。
4. 食品ロス問題の削減に積極的に取り組み、フードバンク活動への支援や生ごみリサイクルを推進されたことは高く評価できます。
5. 商品のプラスチック包装材削減への組合員の要望に真摯に向き合い、課題化・事業活動に反映しようとする姿勢は高く評価できます。

III. 今後の取り組みにあたっての意見

1. ならコープの先進的環境活動が、奈良県全域の環境保全につながり、全国生協の先駆的モデルとなることに期待します。そのために、CO₂排出削減など組合員の行動が環境負荷を軽減することの見える化に期待します。
2. CO₂削減に向けて、組合員、自治体、地域と連携してさらなる再生可能エネルギー導入を進めるとともに、ならコープでんきの利用者増のために積極的な広報・普及活動がすすむことに期待します。
3. 「CO₂排出削減」「プラスチック問題」「食品ロス問題」の解決を目指し、ならコープの2030環境ビジョンに基づき、意識改革・行動変容に繋がる活動を組合員と推進されることに期待します。
4. 家庭ごみに占めるプラスチック容器包装材が増加しています。供給する商品のプラスチック包装材削減に期待します。
5. 「吉野共生プロジェクト」や「絆の森林整備事業」は、森林のCO₂吸収により、気候変動防止に貢献するものであり、カーボンニュートラル実現に向け、このような事業を一層発展させ、奈良県の森林保全に引き続き貢献されることに期待します。

以上